

# 総合体育館や早通中を建設 83億円の新年度予算案



建設中の早通中学校

昭和五十八年度の一般会計予算案がまとまり、現在、開会中の市

議会三月定例会で審議されています。

予算総額は、八十二億九千万円で、今年度の当初比で、三・九割の伸びとなっています。この伸び率は、昭和四十五年の市制施行以来、最低の伸び率を示しています。歳入では、市税が二十一億七千七百六十三万八千円で、予算総額の二六・三割を占め、今年度当初比で五・七割の伸びとなりました。これは、固定資産税やたばこ消費税の伸びなどが見込まれるためです。

市債は、十一億四千六百五十万円で一・六・五割の増、県支出金は、五億六千五百九十九万三千円で一・七・二割の伸びとなっています。

地方交付税は、十八億九千万円で、今年度当初に比べ六・一割減、国庫支出金は、十一億一千二百二十九万五千円で、今年度当初比九・三割の減に、それぞれなりました。

このような歳入不足を補うために財政調整基金から、一億一千万円を取り崩すのははじめ、庁舎建設基金の一億五千万円を繰り替え運用する計画です。

次に、歳出ですが、消費的経費が四十九億八千三百三十一万一千円で予算総額の六〇・一割を占め、今年度当初比で、二・一割増となり

ました。投資的経費のうち普通建設事業費は、二十八億五千七百五十七万九千円で、全体の三十四・五割に当たり、当初伸び率六・三割となります。

主な事業は、仏伝橋の架設工事、豊栄中央土地区画整理事業の調査委託費、葛塚小学校と岡方第二小学校の体育館建設、早通中学校の校舎建設、それに総合体育館の建設などが計画されています。

## 市の人事異動

### 消防本部 (三月一日付)

消防署の南出張所が完成し、三月一日から業務を開始しています。これに伴う人事異動が行われました。また、今までの木崎出張所の名称も北出張所と改められました。

○ 消防署南出張所長西脇信 (本部指導係長)

○ 本部指導係長兼務丸山三郎 (本部消防署長)

## 官公署長の異動

### 三月十一日付

○ 豊栄警察署長星熊治は県警本部警務部付 (退職予定) に、後任は、県警本部警備部外事課長の高橋進。

## 四月から新生葛塚小

### 葛塚小と上土地亀小が統合

葛塚小学校と上土地亀小学校は四月から統合し、新生「葛塚小学校」として、川西三丁目が発着することになりました。

葛塚小学校は明治六年に県第二

十大区小八区葛塚校として発足し昭和十三年に嘉山小を統合し現在地に移転しました。さらに、昭和五十一年に葛塚東小学校を分離して現在に至っています。

また、上土地亀小学校も同じく明治六年に亀浦村大字浦木に開校し、第二十二大区小七区太子堂小学校と呼ばれました。現在の校名は、明治二十年に改称され同二十五年に現在地に校舎を改築移転しました。

このように両校とも創立百年の長い伝統と歴史を誇る学校です。

## とみやがいて どんなうらた。

### 創造のまち豊栄

藤田 シゲ子さん  
(尾山ニュータウン、  
三六歳)

前新田生まれの藤田シゲ子さんは、結婚してから長岡、新潟、三条と回り、五十六年三月に尾山ニュータウンに越してきました。「豊栄」はどんなところだと思いますか。

豊栄というと、「創造の春鮮やかに、正しく位置せり我が葛塚」という母校葛塚中学校の校歌を思い出します。まさに、今の状態は、創造の豊栄という感じだと思います。

生活の「場」としては、五、十の市があるので、新鮮な野菜や果物が豊富に手に入ります。主婦としては、安く食卓にのせる

ことができ助かりますね。ただ、駐車場がなく、ゆっくり買い物ができないのが残念です。

市に望むことは、

近所の奥さんたちとよく話しますが、ここは交通の便が本当に悪いんですね。都市計画の中に、交通の便など配慮できないのでしようか。それに、文化講演会などを年三、四回は、市で主催してほしいですね。三条市にいた時はよく聞きに行きましたが、いろいろな人の話を聞くのは勉強になるし、心が豊かになります。

### ほかに何か。

新興住宅地は、人間付き合いが難しいですね。とけこむまでに時間がかかります。趣味で、籐手芸アートフラワー、詩吟などやっています。それらを通して、地域の人と仲良くやっていけたらと思っています。

## 年金「十一」 (11)

### 母子年金



夫が死亡して、私と子供二人が残りましたが、国民年金に加入していると、母子年金が受けられると聞きました。まだ三年しか保険料をかけてないし、暮しにも困りませんが、母子年金を受けられるでしょうか。

夫や一家の働き手である息子、父または祖父が死亡した場合、この夫等の死亡した前日までに最近一年間の保険料を完納していて妻や祖母または姉が、十八歳未満(心身に障害がある場合二十歳未満)の子や孫または弟妹と生活を

### 遺児年金



両親が死亡して子どもだけがとり残され、その子は親類へ引き取られたのですが、母親が国民年金に入っていたので遺児年金がもらえるかと聞きました。どんな条件でもらえるのでしょうか。

遺児が年金を受けるには、父や母が死亡した日の前の月に一番近い基準月(基準月とは一月、四月、七月、十月をいいます)の前月までの最近一年間(他の公的年金の加入期間を含む)の保険料を完納して、次の条件を満たしていれば支給されます。

- ① 遺児が、父か母の死亡時に、十八歳未満であるか、または二十歳未満で一定の障害状態であること。
- ② 遺児が、父か母の死亡時に、死亡者によって生計が維持されていたこと。
- ③ 父か母の死亡時に、死亡した父か母のほかには、遺児と生計を同じくする父、または、母がいなかったこと、が必要です。

二月二十三日 冬は最も多く死亡者である季節ですが、この冬ほど市で知名の人が多く死亡された冬はないでしょう。農業改良普及員として農家におなじみの、白根農業改良普及所長寺尾昭治さん(白新町)、前市議会議員倉島昭栄さん(高森)、市の委託業者双葉清掃工業社長雪井豊さん(下大口)、元葛塚土改理事長、保護司畠山誠惟治さん(名山)、市議会議員安達顕一さん(長戸呂)、市郷友会長若林精一さん(前新田)がそれです。新

嘉山小学校と、今の市役所のところにあった葛塚小学校の統合校舎ができたのが昭和十三年十二月です。私は役場職員になるとすぐに、統合と新校舎建築事務を担当し、昭和十四年元日の四方拜の式に、召集されていた仙台の部隊から年末・年始休暇で帰り、軍服姿で参列したことを思い出します。時代の大きく変わったことに感慨無量です。上土地亀小学校の閉校式は来る二十三日だそうです。

## 市史の日記 石井耕一

潟市長川上喜八郎さんも、新潟東港、公害防止、上水道、新新バイパス、新産業都市、競馬場などの共同活動で関係の深い人でした。生前のご努力に感謝し、ご冥福を祈ります。

三月六日 葛塚小学校が四月から新校舎へ移ることになり、午前には児童の現校舎にお別れの会、午後には家の人々による葛塚小学校を偲ぶ会が開かれました。葛塚小学校跡地、と刻んだ記念碑も除幕されました。私の家の近くにあって

三月八日 福島潟についての座談会を開きました。出席者は口をそろえて、福島潟の貴重な自然を大切にしようと言いました。二十一世紀に残したい自然の日本の百選に指定されたのですから、福島潟の自然を守ることは、新潟県のため、日本のためであり、豊栄市の責任です。ところが、市は福島潟なんか金をつかうな、博物館にむだな金をつかうとはもつてのほか、などという無名のがきが何通かきています。市民のみなさんはどうお考えでしょうか。